

## 社団設立55周年記念定時総会開催



5月26日(日)正午より午後3時18分まで、ホテルナゴヤキャッスル天守の間にて、本田純緒(岡崎)・神谷徳太郎(半田)総務部員の司会で開始された。森川会長は挨拶にて、会員に感謝の意を示し、令和元年が始まった本年が、柔道整復術公認100周年、日整社団法人設立65周年、愛整社団設立55周年にあたることを述べた。最後に、平成30年度の諸活動が滞りなく遂行できたことに謝意を示し、役員選挙を含めた議案の円滑な審議を求めた。

その後、昨年度の物故者(長谷川貴一前副会長を含む)3名への黙祷、新入会員23名の紹介が行われ、横地信行会員(大曾根)が新入会員代表挨拶を行い、森川会長から激励の言葉が贈られた。

また、喜寿会員表彰11名、永年勤続役員表彰5名、永年業務精励会員表彰93名、学術功労会員表彰7名、柔道功労会員表彰27名、優良会員表彰10名が表彰され、職員2名に感謝状が贈られた。

愛知県知事表彰5名については、情報交換会の冒頭にて大村知事より直接手渡された。

池村三行(中村)・石川益郎(岡崎)両会員が正副議長に選任され、791名中288名の出席(委任状提出会員378名)により、総会の採決が有効に成立することが宣言された。

早川総務部長から、平成30年度事業報告・附属明細書の報告の後、以下の4議案について審議された。

- 第1号議案 平成30年度貸借対照表承認の件
- 第2号議案 平成30年度正味財産増減計算書承認の件
- 第3号議案 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書承認の件

- 第4号議案 平成30年度財産目録承認の件

- 監査報告
- 第5号議案 新役員候補者選任の件

第1号議案から第4号議案いずれも挙手多数にて承認され、第5号議案の新役員選任の選挙では、業務執行理事11名と監事2名が選出された。 <理事選挙結果> (届出順、敬称略)

早川 岩雄 537票・古賀 一 513票・小林 弘治 516票  
石川 益郎 495票・笥 芳幸 522票・藤川 和秀 539票  
春日井和幸 520票・河合 修宏 508票・長瀬 理次 506票  
森川 伸治 597票・山口 雅彦 508票・(有効投票数673票 過半数337票)

<監事選挙結果> (届出順、敬称略)

金田 圭一 485票・内田 光昭 486票・(有効投票数673票 過半数337票)

日整代議員4名および補欠代議員4名が、定員と立候補者同数のため、選挙を行わず承認議決された。

その後、臨時理事会が開催され、森川会長と藤川副会長は再任、急逝された長谷川前副会長に代わって小林弘治新副会長が就任した。

## 愛知県接骨師会共済会総会

午後3時20分から午後3時45分まで、記念定時総会と同じ正副議長が選任され開催された。出席会員293名と委任状提出会員383名の合計676名(会員数791名)にて、総会の採決が有効に成立することが宣言された。

第1号議案 平成30年度事業報告承認の件・第2号議案 平成30年度収支決算書承認の件・監査報告・第3号議案 愛知県接骨師会共済会規程の件

3議案いずれも挙手多数にて承認された。

## 情報交換会

午後5時から、大橋史孝(中村)・二井健太(岡崎)会員の司会進行により、大村秀章県知事や河村たかし名古屋市長ら57名の来賓を迎えて、情報交換会が開催された。



## 第12回愛知県柔道整復専門学校柔道大会 第8回愛整少年柔道形競技会 第40回(公社)愛知県柔道整復師会柔道大会

6月16日(日)愛知県武道館第3競技場にて、3大会が開催された。

午前9時半から開催された専門学校柔道大会は、県内4校が参加。開会式で森川大会会長は「学校間の交流はもちろん、我々業界との交流も含めて、選手の皆さんは学校の代表として挑み、日頃の練習の成果をしっかりと発揮し、悔いのない試合をしてほしい」と、健闘を祈った。

試合は東海医療科学の塚腰勇斗選手が、選手宣誓した後、7人制のリーグ戦で行われた。結果は3勝を上げた名古屋医健スポーツ専門学校が、米田柔整専門学校の連覇を食い止めて見事初優勝を決め、昨年の2位の悔しさから躍進した。

優勝:名古屋医健スポーツ専門学校 準優勝:米田柔整専門学校

試合後、表彰式の前に形の演武として「講道館護身術」が、取:青木保宏・受:夫馬喜久治の両会員により行われた。



少年柔道形競技会は正午より午後1時15分まで行われ、愛知県下9支部の代表選手により「投の形」で競われた。水を打ったような静寂な道場に、選手の、摺り足の音だけが響き、緊迫した雰囲気の中演武は進み、半田チームが8連覇を遂げた。

指導の森会員は「まだまだです」と謙虚に言われるが、喜びと安堵の表情を見せていた。

優勝:半田支部(取:相川 源一受:牧園 翔大)  
準優勝:鶴舞支部(取:山本 倫久一受:宮沢 知希)  
第三位:一宮支部(取:伊藤 可南子一受:吉田 琴美)

午後2時から、第40回となる本会柔道大会が行われた。森川大会会長は「怪我に注意し、明日の施術に影響しないように試合に挑んでいただきたい」と、選手にエールを送った。

昨年優勝の笠寺支部の小西正治選手の力強い選手宣誓のあと試合開始となった。順当に試合が進み、第1リーグでは中村支部が決勝に進み、第2リーグでは、昨年の覇者笠寺支部が準決勝で敗退し、それに勝った一宮が決勝にコマを進めた。結果は2-2の同点であったが、内容で一宮が勝ち名乗りを上げ、四年ぶり4回目の優勝を果たした。決勝戦の前に、形の演武として「講道館護身術」が、取:羽田野 剛・受:西村正道の両会員により行われた。

優勝:一宮支部・準優勝:中村支部・第三位:刈谷支部・笠寺支部



■東海ブロック柔道大会選抜選手

監督:春日井 和幸 大将:月野 義明 副将:間瀬 吉晃  
中堅:河邊 俊博 次鋒:浅井 友哉 先鋒:下山 徳大